

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇特別活動	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> • 本校では、生徒会活動が活発であると評した生徒が73%(H26)→70%(H27)→78%(H28)と高い水準を維持している。 • 文化祭を始めとする各種学校行事は、77%の生徒が充実していると評価した。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇ホームルーム活動を通じた自主的、実践的態度の育成。 ◇ボランティア運動や挨拶運動への参加推進。 ◇部活動の活性化。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> • 企画委員会 • 特活指導委員会 • 生徒議会、執行部会、常任委員会（生徒） 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) より質の高い学校行事を目指し、生徒会執行部、及び各種委員会活動の推進。 (2) 委員会活動の中身の再編とボランティア会の積極的な募集。 (3) 1年生は全員部活動に参加。部活動連絡会、伝達表彰等によって各部の活動を周知。	(1) 生徒会及び各種委員会への事前・事後指導と、反省会の実施。職員へのアンケートの実施、及び問題点についての解決・対応策の提示。 (2) ボランティア会の登録状況と各種ボランティア活動への参加状況。 (3) 部活動への参加状況と実績。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> • よりレベルの高い学校行事に向けた生徒会執行部の継続的な協議の実施。 • 生活委員会がMSリーダーズの活動を兼ね、毎月の保護者と連携した挨拶運動の実施。 • ボランティア会・家庭クラブ・生徒会執行部連携の各種ボランティアへの積極的参加。 • 生徒会執行部の各部の視察、及び部活動連絡会での報告。 	① 昨年度の反省を基に、行事が改善・工夫されているか。 ② 毎月一定数の生徒が活動に参加できているか。 ③ 各種ボランティアに多くの生徒が参加できているか。 ④ 各部が目標を持って取り組んでいるか。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D <input checked="" type="checkbox"/> A B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
11 成果・課題	○創意工夫した質の高い学校行事の実施。 ○池田町の様々な関係機関と連携した、高齢者介護施設や保育園をはじめとする多様なボランティア活動への積極的参加。 ○部活動の継続的な活動。 ▲生徒会執行部の活動状況を周知させるため、定期的な「生徒会報」の発行や、校内放送など広報活動の推進。	
	総 合 評 価 A <input checked="" type="checkbox"/> B C D	

12 来年度に向けての改善方策案

<部活動の活性化に向けて>

- 生徒会を中心とした、各部活動の部長や副部長への研修会の推進。
- 部活動参加状況の把握と担任や学年へのフィードバック。

<学校行事の活性化に向けて>

- 文化祭の発表内容の見直しと鑑賞方法の在り方についての再考。
- 体育大会における応援合戦の在り方についての再考。
- 版画大会のテーマの精選。

<地域のボランティア活動の積極的な参加に向けて>

- 池田町を始めとする周辺地区の幼保園・小中学校等、関係機関との連携の推進。
- 福祉教育や周辺地域のボランティア活動への積極的参加。

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年2月16日

【意見・要望・評価等】

- ボランティア活動は高評価されていると思います。
- 職場で思うことだが、学生時代に部活動やアルバイトなどで頑張ってきた子はやはり職場でも、人間関係がスムーズで、周りのひとともうまくやっつけられる子が多いと思う。アルバイトも良いと思うが、アルバイトは大学にはいつからでもできるので、私は部活動をぜひやってほしいと思う。特別活動が盛んな学校は、活気があると思う。文化祭・体育祭の盛り上がりも活気があっていい。ボランティア活動ができるということは、自分に余裕があり、人に役立つことで幸福感を得ることができる素晴らしい生徒だと思う。多くの体験を通して、自分も全体の中の大切な一人であることを学んでほしい。
- 「福祉のまち池田」を活かしたボランティア活動で、生徒達が自己発見・地域発信していることを評価したい。今後それが進路選択等に結びつく可能性が高まることも期待される。又、160人中100人の女子生徒のパワーがどう実現していくか期待している。
- 高校生活でしか味わえない生徒会活動やボランティア活動に期待しています。